

若狭 講習会
台湾人が、戦争について
話してました。
戦争に駆り出される人は人々。



空襲の被害が大きかった。
空爆の焼夷弾で、燃えて被害が出た。
防空壕なども作られた。



戦争中は鉄などの資源が重要なため寺の鐘とかも
軍にあげる鉄となってしまったらしい

みんな平和をのぞんでいた



大里 講習会



台湾は日本の植民地だった。

みんなで戦争

→中学生や主婦も工場で働いていた。

戦争に行ける人は身長155cm以上。
20歳になったらみんな戦争に行くけれど、体の弱い人は行かなくて良い。しかし、兵士の人数が足りなくなったら、体の弱い人もいかなくてはいけなかった。
東京大空襲の死者は95000人。
小学生は長野県に行って疎開をしていた。
→1番長く疎開した人は4年9ヶ月
防空演習では
バケツリレーをした。



ヘルメット、爆弾、水筒を紹介された。
水筒はとても軽かった。



2年生になると
(昭和19年) 勤労働員



郵便配達で



空襲下の薬品工場



鉄道の補線で



1年生の時は
(昭和十八年)

楽しい学園生活

大山へ遠足

稲毛で潮王狩



玉川で水泳



勤労働員
お国の為と云え、十六歳で学業
を止めて勤労働員
戦前戦中では六年間の小学
校課程の上に二年間の高等科が
あった。
昭和十九年四月、高小三年
十歳歳の小年に勤労働員の
命が下り、或は薬品工場に
或は郵便配達に或は鉄道
補線に終日働き、昭和二十
年三月、卒業式もなく
激動下の社会へ又は少年兵
へ募集された。

(空真休業衣は薬品工場、服は鉄道制服)

平成十四年三月書 家田





墨絵 戦時中の子どもの服装

画 大貫幸子

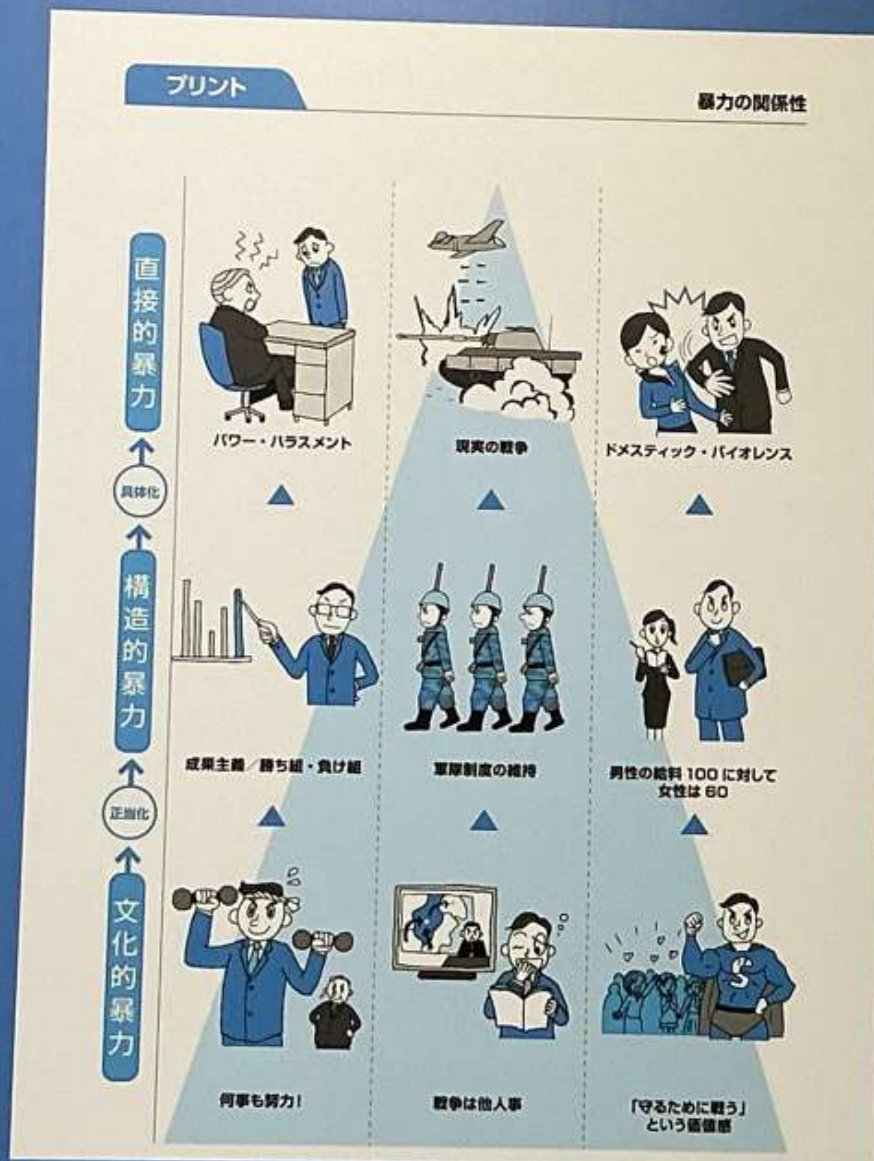
寄贈 渡辺 一

学校名、学年、住所、名前、血液型を書いた札を胸につけ、女の子はもんぺをはき、下駄履き、わらぞうりの子が多かった。ズック靴は新調できなかった。
頭を包み、肩を覆う火よけ、弾丸除けの防空頭巾を肩から下げて学校に通った。

コラム：平和を脅かす 3つの暴力

武力による衝突以外でも、平和とは言い難い状態がたくさん存在します。
では、平和とは一体何でしょうか？

これに対して、平和学はヒントを与えてくれるかもしれません。平和学の提唱者であるヨハン・ガルトゥングは、平和とは、「暴力の不在」だと言っています。この「暴力」には、「直接的暴力」、「構造的暴力」、「文化的暴力」の3つが存在します。下の図を見てみましょう。



暴力の関係性 大阪府政策企画部人権室「人権学習シリーズ
Vol.5 ぶつかる力 ひきあう力 一対立と解決」P.29

戦争以外の状況でも、「構造的暴力」、「文化的暴力」が存在しますし、戦争は「直接的暴力」以外の暴力ももたらします。戦争中には、命の犠牲といった「直接的暴力」以外にも、住んでいた家が空襲によって突然なくなってしまう、お腹いっぱいにご飯を食べられない、祖国のために子どもを戦地に送らなければいけないなど、「平和ではない」状態がありうるのです。

～ 戦争、紛争 ～

1945年～2020年にかけての戦争、紛争の出来事についてが展示されている。
この平和館では日本だけのことなく世界中の紛争、反乱について掲載されている。



～ 展示物 ～

。 服装

もんぺや子どもの靴、兵士の服など



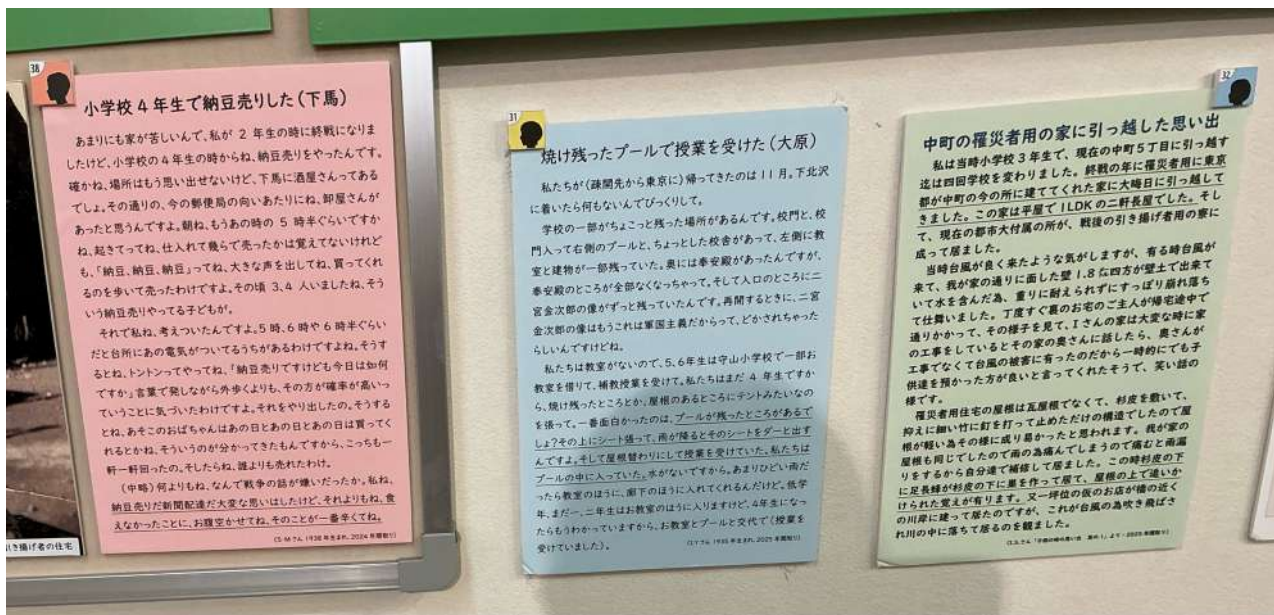
。かるたや人形、積み木など



○ 当時の物、生活に使っていたとされる物

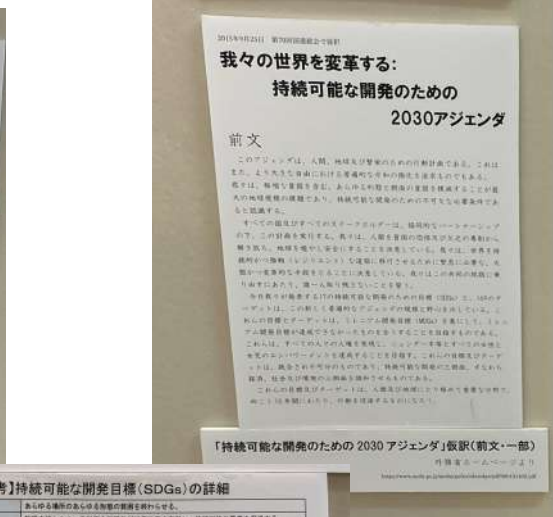


。中町や当時小学4年生の人から聞いたこと



～ これからの世界 ～

これからのより良い世界に向けて、持続可能な社会を目標に「SDGs」が作られたり、今の世界の現状を思い知らされる掲示物が展示されている。



【参考】持続可能な開発目標(SDGs)の詳細

目標1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を根絶する。
目標2 (飢餓)	飢餓を根絶し、食料・栄養・農業の持続可能な開発を促進する。
目標3 (健康)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4 (教育)	すべての人に包摂的かつ公平な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び男児の権利と能力の伸張を行う。
目標6 (水・衛生)	すべての人々の安全な水と衛生の持続可能な管理を確保する。
目標7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な包摂的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8 (経済成長と雇用)	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の包摂かつ公平な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9 (インフラ、産業化、イノベーション)	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10 (不平等)	各国内及び各国間の不平等を減らす。
目標11 (持続可能な都市)	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間住居を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13 (気候変動)	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15 (陸上資源)	陸地生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対応ならびに土地劣化の防止、気候変動及び他の自然環境リスクの緩和を促進する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を構築し、すべての人々に司法と公平なアクセスを確保し、あらゆるレベルにおいて効果的で包摂的なガバナンスの制度を構築する。
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。



本多 佐々木 平和モニュメント

平和都市宣言を記念し、国際平和年にあたる昭和61年12月に平和を願う区民からの寄付をもとに設置しました。



高さ 1.5メートル

材質 ブロンズ



平和都市宣言5周年を記念し、平成2年8月に設置しました。中央にガス灯が組み込まれています。この灯には広島市の「平和の灯」と長崎市の「誓いの火」とともに、平和の願いを込めて火を合わせたいという区民や団体の火も合わせて、点火しました。

高さ 4メートル